

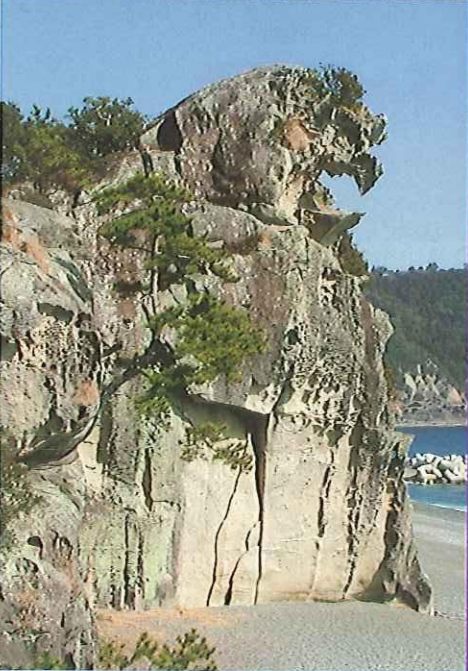


Kinki Shizen Hodou

熊野詣の旅人気分を味わう

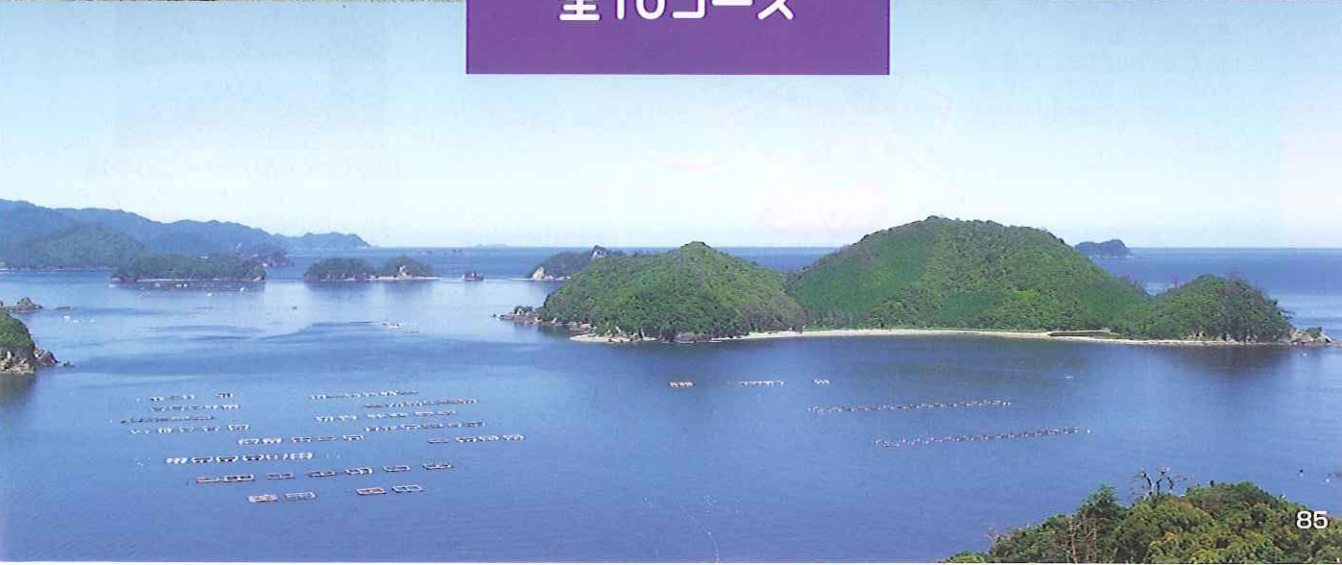
東紀州地域

千年の歴史・熊野古道コース



GUIDE MAP

全10コース



熊野古道ってどんな道？

熊野古道は平安末期から鎌倉期には皇族が、江戸時代には「一般の人々が詣でると業が一つ落ちる」といわれる熊野三山への参詣に利用した祈りの道です。

当時の旅は徒歩が基本のため、峠の多いこの道を越えることはさぞかし大変なことだったはず。ですが、「蟻の熊野詣」と称されるほど人気のある道でもありました。

昨今では、熊野古道が再び注目を集め、歩く人々の姿をよくみかけます。道の状態も当時に近いため、歴史的価値が高いと評価され世界遺産登録間近な熊野古道。時代を超え、人々を魅了するこの道にはなにがあるのでしょうか。

名所！難所？

熊野古道オススメスポット

風情漂う石畳を歩く

八鬼山越え

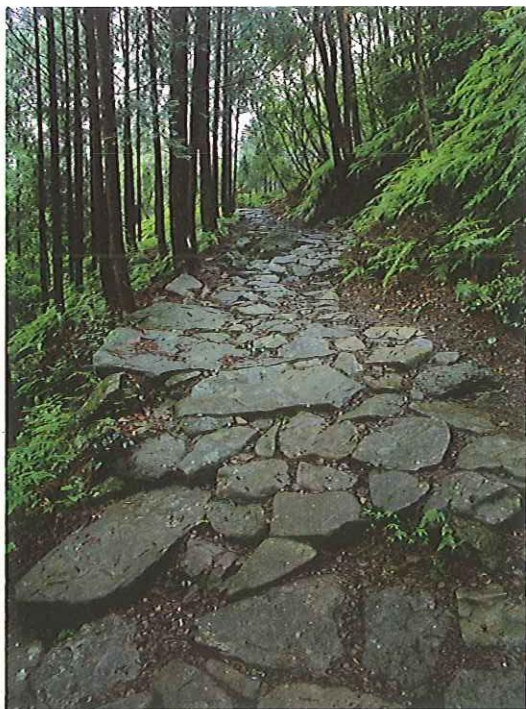
海拔27メートルの険しい山道と山賊や狼が出る「八鬼山越え」は、熊野古道の一番の難所だといわれています。現在では、その険しい道のため石畳の保存も良くお地蔵様や史跡なども残っているのので、名所として呼び声が高いスポットです。



松林の中の石畳風景は古道

馬越峠

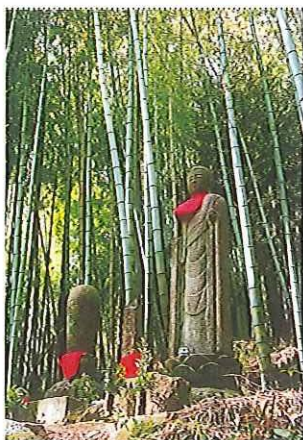
江戸時代に造られたとされる海山町と尾鷲市の境にある馬越峠。当時のままの姿を残す苔の生えた石畳が松の美林と足元のシタに囲まれている景観は、熊野古道一の美しさだといわれています。



七里御浜を望む道

松本峠

古道を歩きながら七里御浜の絶景を楽しむ松本峠には、さまざまな史跡や眺望スポットがあります。比較的に緩やかな道が続き、熊野古道の自然を愛でながら歩きたい場所です。





29
11.9km

旧熊野街道ツツラト峠をたどるみち



■凡例

- 近畿自然歩道(公道)
- 近畿自然歩道(自然歩道)
- 熊野古道
- 国道
- 県道
- 標識
- 公衆トイレ
- JR紀勢本線
- バス停



有久寺温泉
有久寺薬師堂の下に湧く温泉。鎌倉時代から歴史的名湯として知られ、日本史上の先人たちがこの温泉に浸かりました。



ツツラト峠
かつて伊勢の国と紀伊の国の分かれ目であった峠。頂上からは熊野灘を見ることができます。



八柱神社
村の氏神様。春は桜の、秋は紅葉の名所として、地域の人々に親しまれています。



ふれあい牧場
たくさんの牛達や小動物などがゆったりと生活する牧場。牧草地もあり、ピクニックを楽しむことができます。

コース概要

JR梅ヶ谷駅より古木のある八柱神社へ。定坂公園を通り、川沿いに進んで林道へと入る。しばらくすると、熊野古道のツツラト峠の登山口へ。そこから整然と植林された檜の人工林の中を登っていき、「旧熊野街道ツツラト峠」という道標のある頂上に着き、熊野灘の遠望を楽しんだら、下りの九十九折れの峠道を進む。峠を下りたら、志子奥登山口から志子の集落を抜け赤羽バス停へと至る。

6	4.5km	5	3.0km	4	0.9km	3	2.0km	2	1.5km	1
赤羽口バス停		志子奥の集落		ツツラト峠頂上		ツツラト峠登山口		定坂公園		JR梅ヶ谷駅
80分		50分		30分		40分		30分		30分
80分		60分		30分		40分		30分		30分

コースのアップダウン



A

B

C

D

E

F

30
7.7km

紀伊の松島をのぞむみち



豊浦神社
日本武尊の御子14代仲哀天皇により創建されたといわれる由緒ある神社。境内には巨大なクスの木があります。



丸山島
豊かな自然が残る島。島周辺海域には、トゲトサカの群生地帯があります。



古里海岸
赤野島や丸山島など緑の小島を望むことができ、キャンプ場も併設した海水浴場。夏場は多くの観光客が訪れます。

紀伊長島町



コース概要

古里トンネルの手前から山道を進み、旧熊野街道を下りていくと、鈴島や丸山島などの美しい風景を見ることができる。その後、古里の集落を通り、古里海水浴場やキャンプ場の風景を楽しんだ後、道瀬の集落へ。途中から山道へ入り、檜の植林やシダなどの自然植物を見ながら散策し、山道を下り旧熊野街道を行くと、終点JR三野瀬駅へと至る。



GOAL
JR三野瀬駅

START
赤羽口バス停



きいながしま古里温泉
ナトリウム-炭酸水素塩泉で、打ち身、冷え性、神経痛などに効果がある日帰り温泉施設。施設近辺には、宿泊施設も整っています。



高塚公園展望台
熊野灘を一望できる展望台のある公園。夏場は9時頃まで照明を点けてライトアップされています。



鈴島
県の天然記念物や鳥獣保護区特別保護地区などに指定されている島。

■凡例

- 近畿自然歩道(公道)
- 近畿自然歩道(自然歩道)
- 熊野古道
- 国道
- 県道
- 公衆トイレ
- 休憩所
- 案内標識
- 標識
- JR紀勢本線
- バス停

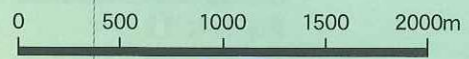


一般コース 31 熊野古道馬越峠を歩くみち 11.5km

熊野古道馬越峠を歩くみち

■凡例

- 近畿自然歩道(公道)
- 近畿自然歩道(自然歩道)
- 熊野古道
- 国道
- 県道
- 公衆トイレ
- 休憩所
- 案内標識
- 標識
- JR紀勢本線
- 展望施設
- バス停



魚飛溪 大台山系から熊野灘へと流れる銚子川の上流。夏になると水遊びやキャンプを楽しむファミリーで賑わいます。



夜泣き地蔵 旅人の無事を祈って建立されたお地蔵様。また、子供の夜泣きやカン封じに効くと信じられています。



桃乙の句碑 嘉永七年(1854)に建立されたのは、可涼園桃乙(かりようえんとういつ)の句碑。高さ2mのみかげ石には「夜は花の音あり山の水(夜は桜の花の音に更に山の水の音がする)と刻まれています。刻まれています。



海山町郷土資料館 漁具や農具、土器など、町の歴史を紐解くものが約八百点展示されています。



一里塚 現在は、石積み跡が残っているだけですが、当時は西に松、東に山桜を植え旅人に1里を教えた場所でした。



石畳の古道 江戸時代に造られたといわれる石畳。県の指定文化財に指定されています。

コース概要
JR船津駅から海山町の町中を通り、鷺毛バス停付近の国道42号線沿いの山道へ入ると熊野古道馬越峠へ。入り口から2km続く坂道に残る往時の美しい石畳を行くと、幹線沿いに一里塚や茶屋跡、桜地蔵、江戸末期の俳人桃乙の句碑など、数多くの遺産に会うことができます。峠を歩き終えて馬越公園を通過し、尾鷲市外を通過してJR尾鷲駅へと至る。

コースルート

6	1.8km	5	0.7km	4	0.7km	3	3.3km	2	5.0km	1
JR尾鷲駅		馬越公園		馬越峠		鷺毛バス停		JR相賀駅前		JR船津駅
40分		20分		30分		40分		70分		70分
50分		30分		20分		30分		70分		

↑ ↓ コースのアップダウン

熊野古道八鬼山の町石をたどるみち

コース概要

JR尾鷲駅から出発し、道脇の道標を確認しながら進むと、尾鷲のロマンを象徴する尾鷲節の歌碑まで到着する。ここからは、熊野古道最大の難所といわれた八鬼山越えとなる。美しい尾鷲ヒノキの茂る石畳続くの山道は、七曲がりと呼ばれる急坂や平坦な道を繰り返しながら頂上へと続く。頂上から雄大な熊野灘を眺めた後、下って名柄の一里塚までくる。ここで峠は終りとなり、三木里の美しい海岸へ出てコースは終りを告げる。




町石
地蔵の形をした十五丁石がちよこんと納まっている小さな祠。山頂までの五十町にこの町石が置かれていました。



荒神堂
山頂近くにある防火の神様である三宝荒神を祀った寺院。ここには茶店が店開きし、餅が名物であったといわれます。



尾鷲節歌碑
矢浜の若き大工と、八鬼山を隔てた三木里の娘との悲恋を唄った尾鷲節の歌碑。登山道の登り口がわからずに迷う巡礼者が多かったため建てられました。



茶屋跡
八鬼山に数多くある茶屋跡。ここは庶民だけの休憩場所ではなく、紀州藩主や巡見使などが駕籠を下ろしてひと息つく駕籠立場でもありました。



三木里松林
三木里海岸に徳川吉宗が防風林として植林させた松林。現在は44本の黒松が天然記念物として指定されています。



三木崎灯台
絶壁にそびえる白亜の灯台。三木崎の名物であるヤブツバキが群生する散歩道があります。

■凡例

- 近畿自然歩道(公道)
- 近畿自然歩道(自然歩道)
- 熊野古道
- 国道
- 県道
- 公衆トイレ
- 休憩所
- 案内標識
- 標識
- JR紀勢本線
- バス停



曾根次郎坂・太郎坂を越えるみち

コース概要

尾鷲市曾根から熊野へ抜ける山道へ入り、かつては伊勢と紀伊の国の境目であったと言われる甫母峠、別名曾根次郎坂太郎坂を越える。峠を越えると、熊野市二木島へ出て、国道311号を50m程歩き二木島峠の道を進む。林の中を進むと途中から逢神坂峠になり、石畳の残された古道を進み、新鹿へと至る。



キリシタン灯籠
登り口に近い場所にあるお堂。中には、庚申碑とさおの部分だけが残ったキリシタン灯籠が祀られています。



石畳道



巡礼墓



曾根弾正五輪塔
室町時代から江戸初期の銘がある曾根弾正夫妻の五輪二基と長男の坂石塔婆が一基の塔。墓地からは町が一望できます。

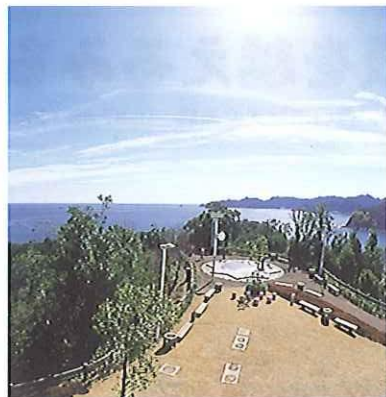


鯨供養塔
戦前まで捕鯨の中心地であった二木島ならではの供養塔。塔には『鯨三十三本』と刻まれています。



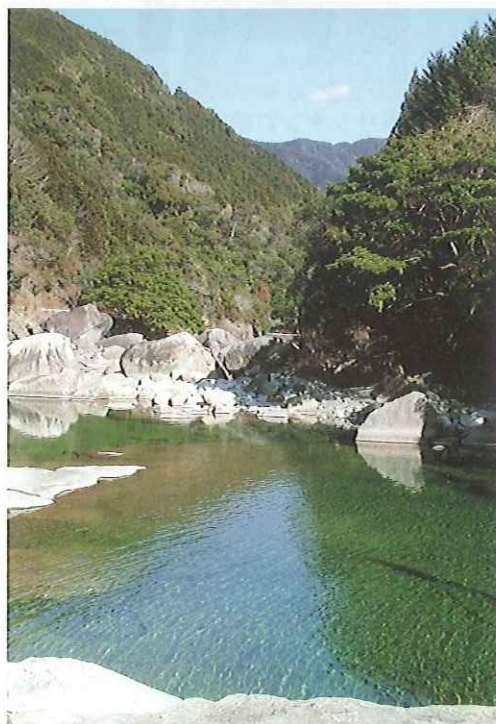
- 凡例
- 近畿自然歩道(公道)
 - 近畿自然歩道(自然歩道)
 - 熊野古道
 - 国道
 - 県道
 - 公衆トイレ
 - 休憩所
 - 案内標識
 - 標識
 - JR紀勢本線
 - バス停





● 高塚公園展望台（紀伊長島町）
90ページA4
標高74mの高塚山頂上にある展望公園。園内の展望台からは、リアス式海岸線や海に浮ぶ小島など町の絶景を楽しむことができます。

豊かさとお出会う
自然スポット



● 魚飛溪（海山町） 92ページC1
銚子川の上流、約1kmにわたる渓谷。大きい岩はテニスコートほどの大きさがあり、夏になると天然石のすべり台を楽しむことができます。

いいまち発見！ ふるさと名所紀行 ⑦

自然歩道で出会うまちには、どんな出会いと発見が待っているの？
先を急ぐ足を少し休めて、どこか懐かしさを感じるこのまちの名所・旧跡を観光、味覚を満喫しませんか？

黒潮踊るまち
紀伊長島町・海山町・尾鷲市



● 大曾根公園（尾鷲市）
93ページE4
尾鷲湾を一望できる展望台や散策路、野外音楽堂などがある公園。中でも、世界の椿園には、725種類の世界の椿と、約三千本のヤブツバキが集まっており、冬から春にかけて美しい花を咲かせます。

黒潮の恵み豊かな熊野灘で捕れた新鮮な魚介類を天日干しにした海山町の干物。栄養価も高く、味わい深い一品で、食卓に彩りを加えます。

干物（海山町）

ふるさとの一品
いいものみつけた！

珍味として名高く、また、紀伊長島町の町魚であるマンボウの料理。肝は酒蒸しや肝あえ、本体は煮物やお造りなど、様々な料理を楽しめます。

マンボウ料理（紀伊長島町）

● 三木里海水浴場（尾鷲市）

94 ページ A・3

遠浅の海岸に真っ白の砂浜が広がり、夏になると中京や関西から多くの海水浴客が訪れる海水浴場。また、海岸には徳川吉宗公が植えさせたという松原があり、天然記念物に指定されています。



まちを探検！
ふるさと探検記

● 紀伊長島町の桜の名所

● 赤羽公園

89 ページ E・1

芝生広場や野球場、テニスコートなどがある公園。春になると、

園内を桜の花が咲き乱れ、花見客が集まります。

● 宮川第二発電所の桜並木

90 ページ A・3



● 古里温泉（紀伊長島町）

89 ページ D・3

町営の温泉施設。泉質はナトリウム炭酸水素塩泉で、打ち身、冷え性、神経痛などに効果が



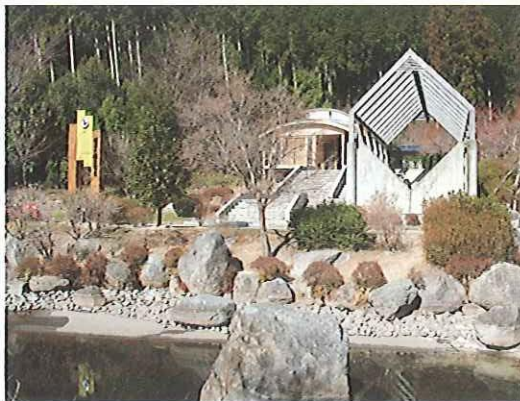
があります。宿泊はできませんが、旅の途中に休めるスポットとし

て人気があります。

● 種まき権兵衛の里（海山町）

92 ページ C・2

海山町に伝わる民話「種まき権兵衛」を中心に、「花と緑と水」をテーマに、自然を活かした公園。日本庭園や展示室、茶室を備えた権兵衛屋敷が造られており、自然



に親しむ場として、多くの人に利用されています。

● 尾鷲天文学館（尾鷲市）

92 ページ A・2

尾鷲市街を見渡せる中村公園内にある施設。自治体では日本最大



級を誇る反射望遠鏡が備えられ、昼間は、迫力ある太陽のプロミネンスや黒点が観察でき、夜間には夜空に輝く星空を眺める夜間観望会が楽しめるようになっていきます。

熊野灘で捕れる脂の少ないサンマを背開きし、こはんの上のせて作る姿寿司。熊野地方のお正月のハレの日料理として欠かせない一品です。



サンマ寿司（尾鷲市）

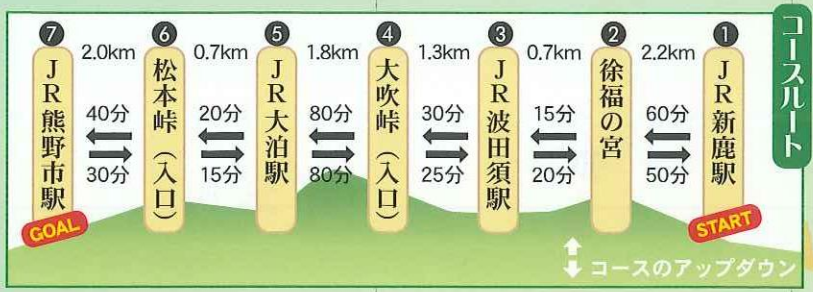


34 8.7km

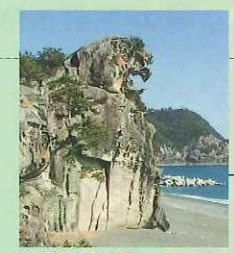
徐福伝説の波田須を探索するみち

コース概要

JR新鹿駅から山側を歩くと鎌倉時代に敷きつめられた石畳の残る熊野古道に入る。「波田須歴史の道」を辿りながら大吹峠を目指し大泊へ。ここから一部国道42号線を歩き民話の残る地蔵様や往時の賑わいを偲ぶことのできる松本峠を越えれば、美しい玉砂利海岸で知られる七里御浜が見えてくる。



松本峠(地蔵)
 名勝・鬼ヶ城の山手にある古道。途中の梅林から美しい七里御浜の遠望が見える。地元の民話にも登場する地蔵様も見どころの一つ。



獅子岩
 熊野灘に向かって吠える獅子の姿をイメージさせる国の天然記念物。



鬼ヶ城
 荒波の浸食と大地震の隆起によってできた国の天然記念物。春には、城跡周辺に植えられた2000本の桜が見頃を迎える。



波田須歴史の道
 伊勢街道では一番古い時代の鎌倉時代の石畳が残る古道。



徐福の宮
 秦の始皇帝の命により不老不死の仙薬を求めてやって来た徐福を祀る場所。



弘法大師の御足跡水
 天長4年(827)、この道を通った際、弘法大師が足跡を残したとされている。



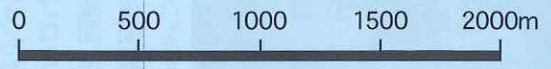
文字岩
 高さ200cm、幅285cmの巨岩に「勤慎忍」の文字が刻まれ戦国時代の物語りが残されている。



大吹峠(竹林)
 熊野古道の中でも珍しい竹林を抜ける約1.7kmの散策コース。

凡例

- 近畿自然歩道(公道)
- 近畿自然歩道(自然歩道)
- 熊野古道
- 国道
- 県道
- 公衆トイレ
- 休憩所
- 案内標識
- 標識
- JR紀勢本線
- 警察



七里御浜を歩くみち



下市木のイブキ
樹齢六百年とも言われる巨木。明治末に今の場所に移されました。



壺の池



花の窟神社
日本書紀の神生みの舞台。巨岩を御神体としており古代信仰の原点となる神社。自然石の巨岩を社殿にしているので一見の価値ありなスポットです。



七里御浜
「白砂青松百選」、「21世紀に残したい日本の自然百選」「日本の渚百選」などに選ばれた海岸。熊野灘に面したなだらかな砂礫海岸で、熊野川から鬼ヶ城の西のはずれまで20数kmにわたって広がり、吉野熊野国立公園に指定されています。



獅子岩
日本のスフィンクスともいわれる高さ25m・周囲210mの岩塊。大洋にむかって獅子の吠える形からこの名がつけました。

コース概要

熊野市駅から町中へ進むと、国の名勝天然記念物「獅子岩」へ。七里御浜を見ながら国道42号の歩道を歩いて進むと、日本書紀の神生みに登場する花の窟神社へと着く。その後、42号線沿いを進み、熊野市と御浜町の境界の志原川に着く。御浜町に入ると七里御浜をはなれ歩き続け、壺の池、下市木のイブキ（県天然記念物の大木）、と辿り、下市木から緑橋を渡り、一里塚を越え、七里御浜を眺めながら歩き紀南病院バス停へと至る。

区間	距離	所要時間
⑥ 紀南病院前バス停	5.5km	80分
⑤ 下市木のイブキ	2.1km	35分
④ JR神志山駅	5.5km	80分
③ 花の窟神社	0.9km	15分
② 獅子岩	0.8km	12分
① JR熊野市駅	0.8km	12分

↑ コースのアップダウン

凡例

近畿自然歩道(公道)	———
近畿自然歩道(自然歩道)	- - - - -
熊野古道	⋯⋯⋯
国道	●
県道	●
案内標識	■
標識	●
JR紀勢本線	——+——
バス停	○



熊野古道と紀州犬のふる里をたずねるみち

コース概要

杉山バス停から妙見山へ。頂上まで20町20間の道のりには、1町おきに町石が建てられており、石畳風の石段やゆるやかな道など、緩急織り交ぜた道が続く。頂上よりTV中継所へ進むと、生駒や新宮などが見渡すことができ、別の道を辿り下り、林道阪本神木線に出る手前で、熊野古道に入る。坂ノ峠を越え、上野地内に入り、大杉の横を過ぎると終点尾呂志バス停へと至る。



37. 風伝峠と丸山千枚田をたずねるみちコースへ

妙見山 御浜町の西峰の北にある山。登山道は、石畳や石段がある道で昔からの参道のようなようです。



横垣峠の石畳 横垣峠は山間を進んで熊野本宮大社へ向かう本宮道。この辺りの石畳道は、最近発見されたばかりで、美しい道が残っています。



御浜窯工場 熊野灘の海の色を想わせるブルーの御浜窯の窯元。ブルーの他に、那智黒石のような渋みを伝える黒を基調とした御浜窯もあります。



なかよしステーション神木 新鮮なみかんや野菜の直売のほか、地元特産品の展示コーナーもあります。



さぎりの里 地元で収穫される四季折々の新鮮な農作物などを販売しています。また、茶屋では、地元食材を使ったおいしい料理が味わえます。

■凡例

近畿自然歩道(公道)	——
近畿自然歩道(自然歩道)	- - - -
熊野古道
国道	●
県道	●
公衆トイレ	W
休憩所	☀
案内標識	🚶
標識	●
バス停	🚌



いいまち発見！ ふるさと名所紀行 ⑧

自然歩道で出会うまちには、どんな出会いと発見が待っているの？
先を急ぐ足を少し休めて、どこか懐かしさを感じるこのまちの名所・旧跡を観光、味覚を満喫しませんか？

海と生きるまち

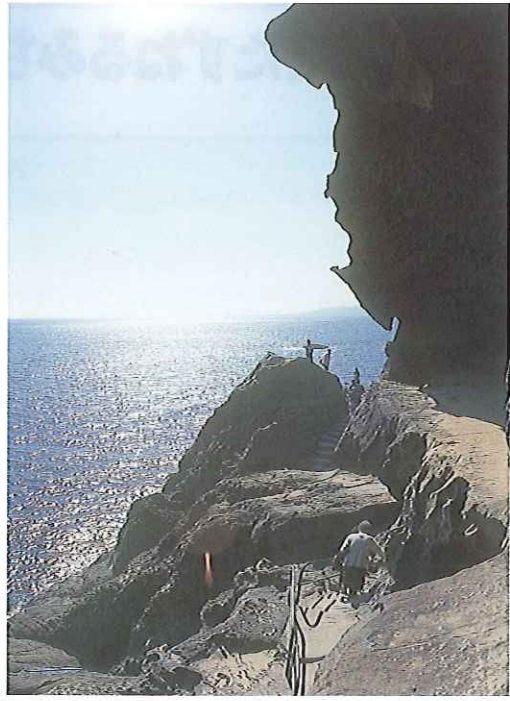
熊野市・御浜町・紀和町



豊かさとお出会う 自然スポット

●鬼ヶ城（熊野市） 100ページC4
101ページF5

熊野灘に面した半島で、荒波の



侵食と大地震の隆起が創り出した自然岸壁の芸術品。また、鬼と恐れられた海賊・田蛾丸が住み着き、坂上田村麻呂が征伐したという伝説も残っており、国の天然記念物に指定されています。



●桃太郎岩（御浜町）

まちを流れる片川川の上流にある大きな岩。その形は大きな岩を二つに割ったようで、桃が割れているかのように見える。

●七里御浜海岸（熊野市・御浜町・紀和町）

玉砂利を引き詰めた20数kmほど続く美しい海岸。「日本の渚百選」や「白砂青松百選」などに選ばれている。



ふるさとの一品
いいものみつけた！



那智黒石（熊野市）

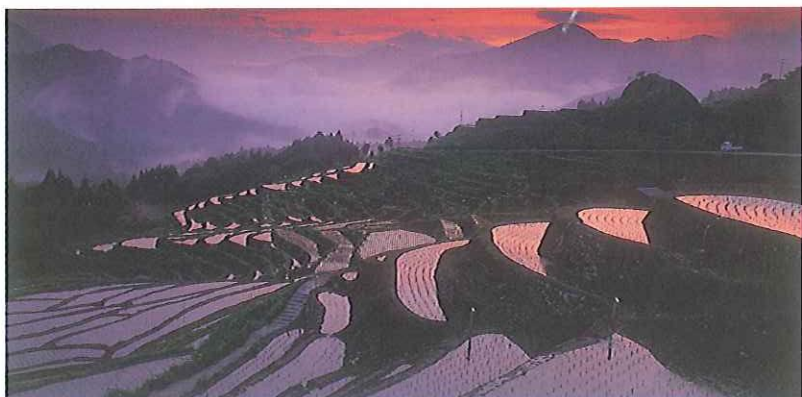
熊野を中心に産出される貴重な石。製品は全て手作りで、そのひとつひとつには天然の石の美しさがあり、芸術的な希少価値があります。



みかん（御浜町）

御浜町は『年中みかんがとれる町』。柑橘類の生産量は県下NO1で、豊富な種類と甘酸っぱい美味しさが人気の秘密です。

●丸山千枚田(紀和町) 107ページD2
 造成は約四百年前以上からされた山間地特有の棚田。高低差が約100mもあり、四季折々の姿で楽しませてくれる千枚田は「日本の棚田百選」にも選ばれている。



●布引の滝(紀和町) 108ページB5
 熊野花崗岩の岩盤を削り取って

できた四段からなる滝。「日本の滝百選」にも選ばれている。



まちを探検!
 ふるさとスポット



●鉱山資料館(紀和町) 108ページB3
 昭和53年に閉山した鉱山の探掘現場や、豎坑を地底深く下りる疑似体験ができるエレベーターなどがあるユニークな資料館。

●赤木城跡(紀和町) 107ページD1
 天正年間、藤堂高虎が築城したといわれている。中世と近世の築城法を併用した平山城で、今も当時の原型を残している貴重な歴史遺産である。



●「道の駅」パーク七里御浜(御浜町) 102ページA1
 国道42号線の海沿いにあるパークینگエリア。東紀州地区の情報や、特産品などの販売や陶芸などの体験などができる。



町内産の梅を手作りで漬け込む名物の梅干し。食べやすく体にも良い自然の健康食品で、昔から多くの人々に食されてきました。

梅干し(紀和町)



37
13.8km

風伝峠と丸山千枚田をたずねるみち



赤城城址
藤堂高虎が築城したと云われる城。中世と近世の築城法を併用した平山城で、今も築城当時の原形を残した城跡として貴重なものです。



丸山千枚田
江戸時代から作られてきた1300枚をこえる棚田。日本棚田百選にも選ばれています。



風伝峠
御浜町と紀和町の境にある峠。江戸時代の前から、奥熊野と奈良県の北山とを結ぶ最短コースとして重要な役割を果たしていました。

コース概要
尾呂志バス停より古道に入り道は登りとなり竹林へ。ここから風伝峠になり古道は一端、旧国道に。しばらく登って右に入り風伝茶屋へ。頂上を過ぎると紀和町に入り、山伝いに県道を進み、途中を右に折れ石段を進むと通り峠の古道に出る。峠の頂上を越え、道を下ると丸山橋の手前で県道に戻り、丸山千枚田に出会う。ここを過ぎ小栗須地点、板屋地内を通過し、国道311号線を進むと、終点瀬大橋へと至る。



■凡例

近畿自然歩道(公道)	——
近畿自然歩道(自然歩道)	- - -
熊野古道	⋯⋯⋯
国道	●
県道	●
公衆トイレ	W
案内標識	■
標識	●
バス停	♀





38 10.1km

静峡をめぐるみち



トロッキ電車 (坑内)
鉱山時代、従業員及び鉱石の運搬手段として利用されていたのが、平成2年観光用として再活用された。約1,000mのトンネルを10分程度で、湯元湯ノ口温泉へと連絡している。

コース概要

小川口橋を渡り、北山川沿いに歩くと、静峡ハイキングコースへと入る。森林浴を楽しみながら進むと、やがて道は下りになり川に突き当たる。この川が静峡で有名な北山川であり、川にかかる吊り橋を渡ると、そこは和歌山県、奈良県、三重県の三県境界地点になっている静八丁である。ここから、奈良県(十津川村)、和歌山県(熊野川町)側のハイキングコースを進み、終点玉置口へと至る。



コースルート

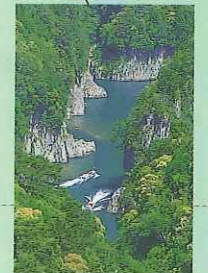
37. 風伝峠と丸山千枚田をたずねるみちコースへ



北山川
原始林が茂り、平均水深16mの紀和町を流れる川。下流から下静・上静・奥静と分かれています。



ジェット船
往復2時間の川下りを体験できるジェット船。渓谷探勝に多くの観光客が訪れます。



静八丁
三重、奈良、和歌山の三県にまたがる紀伊半島随一の渓谷美を誇る静峡。国の天然記念物にも指定されています。

■ 凡例

近畿自然歩道(公道)	——
近畿自然歩道(自然歩道)	- - - -
和歌山県近畿自然歩道	- · - · -
国 道	●
県 道	●
標 識	●
バ ス 停	○

